

# 安全データシート

作成日 2011年 7月 7日  
改訂日 2016年10月12日

## 1.製品及び会社情報

製 品 名	水系クールシリコン
会 社 名	オバナヤ・セメントックス株式会社
住 所	三重県いなべ市北勢町東村 1339
電 話 番 号	0594-72-6488
F A X 番 号	0594-72-6253
担 当 部 門	製造部 工場管理課
整 理 番 号	M3310

## 2.危険有害性の要約

### GHS分類

引 火 性 液 体:	区分外
急性毒性	
経 口:	区分外
経 皮:	区分外
吸 入 (ガ ス):	分類対象外
吸 入 (蒸 気):	区分外
吸入(粉塵、ミスト):	区分外
皮膚腐食性/刺激性:	区分外
眼に対する重篤な損傷性/ 刺激性:	区分外
感作性	
呼 吸 器:	区分外
皮 膚:	区分外
生殖細胞変異原性:	区分外
発 がん 性:	区分2
生 殖 毒 性:	区分外
授乳に対する、または 授乳をかいた影響:	区分外
特定標的臓器/ 全身毒性(単回暴露):	区分2
特定標的臓器/ 全身毒性(反復暴露):	区分2
吸引力呼吸器有害性:	区分外
水生環境	
急 性 有 害 性:	区分2
慢 性 有 害 性:	区分3
オゾン層への有害性:	区分外

### GHSラベル要素



注 意 喚 起 語:	警告
危 険 有 害 性 情 報:	発がんのおそれの疑い 臓器の障害のおそれ 長期にわたる、または、反復暴露による臓器の障害のおそれ 水生生物に毒性 長期的影響により水生生物に有害

## 注 意 書 き:《予防策》

火気のない局所排気装置を設けた場所で使用すること。  
 塗装中、乾燥中とも換気をよくし、蒸気を吸込まないようにすること。  
 取扱中は、皮膚に触れないようにし、必要に応じて有機ガス用防毒マスク、送気マスク、  
 頭巾、保護眼鏡、長袖の作業衣、えりまきタオル、保護手袋などを着用する。  
 塗料の付着したウエスや塗料カス、スプレーダスト等は廃棄するまで必ず水に漬けておくこと。  
 容器からこぼれた時には、布で拭き取って水を張った容器に保管すること。  
 取扱い後は、手洗い及びうがいを十分に行なうこと。  
 容器を密閉し、40℃以下の場所で貯蔵すること。  
 子供の手の届かないところに保管すること。  
 本来の用途以外にしないこと。

## 《対応処置》

火災時には、炭酸ガス、泡または粉末消火器を使用する。  
 皮膚に付着した場合は、速やかに多量の石けん水で洗い落とし、痛みまたは外観に変化がある時には、医師の手当てを受けること。  
 眼に入った時には、多量の水で洗い、できるだけ早く医師の手当てを受けること。  
 蒸気、ガス等を吸込んで気分が悪くなった時には、安静にし、医師の手当てを受けること。

## 《廃棄》

内容物や容器を、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に廃棄を委託する。

## 3.組成・成分情報

化学物質・混合物の区分: 混合物  
 成分及び含有量  
 (危険有害性物質を対象):

化学名又は一般名	濃度又は濃度範囲	CASNo.	PRTR法
エチレングリコール	1 ~ 10%	107-21-1	
ジウロン	0.2%	330-54-1	1種169
酸化チタン	10 ~ 20%	13463-67-7	
メタノール	0.1 ~ 1%	67-56-1	
酸化ジルコニウム	0.1 ~ 1%	1314-23-4	
二酸化錫	0.1 ~ 1%	18282-10-5	

## 4.応急措置

吸入した場合: 蒸気、ガス等を吸い込んで気分が悪くなった場合には、空気の新鮮な場所で安静にし、医師の手当てを受けること。  
 皮膚に付着した場合: 付着物を布にて素早く拭き取る。  
 大量の水及び石けん又は皮膚用の洗剤を使用して十分に洗い落とす。溶剤、シンナーは使用しないこと。  
 外観に変化が見られたり、痛みがある場合は医師の手当てを受けること。  
 眼に入った場合: 直ちに大量の清浄な流水で15分以上充分洗う。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。まぶたの裏まで完全に洗うこと。  
 出来るだけ速く医師の手当てを受けること。  
 飲み込んだ場合: 安静にして直ちに医師の手当てを受けること。嘔吐物は飲み込ませないこと。  
 医師の指示による以外は無理に吐かせないこと。

## 5.火災時の措置

消 火 剤: 水、炭酸ガス、泡、粉末、乾燥砂  
 消 火 方 法: このものに可燃性はない。  
 周辺火災に対応して、消火活動を行うこと。

## 6.漏出時の措置

人体に対する注意事項/

保護具及び緊急時措置: 作業の際には適切な保護具(手袋、保護マスク、エプロン、ゴーグル等)を着用する。

封じ込め及び浄化の

方法・機材: 漏出物は密閉できる容器に回収し、安全な場所に移す。  
 付着物、廃棄物などは、関係法規に基づいて処置すること。  
 乾燥砂、土、その他不燃性のものに吸収させて回収する。  
 大量の流出には盛土で囲って流出を防止する。  
 水での洗浄等も河川等への排出、環境汚染を引き起こす恐れがあり注意する。

## 7.取扱い及び保管上の注意

取扱い上の注意: 取扱いは、換気の良い場所で行う。

容器はその都度密栓する。

皮膚、粘膜又は着衣に触れたり、眼に入らないよう保護具を着用する。

取扱い後は、手・顔等をよく洗い、休憩所等に手袋等の汚染保護具を持ち込まないこと。

保管上の注意: 日光の直射を避ける。通風のよいところに保管する。

火気、熱源から遠ざけて保管する。

## 8.暴露防止及び保護措置

設備対策: 屋内塗装作業の場合は自動塗装機を使用するなど作業者が直接暴露されない設備とするか、局所排気装置などにより作業者が暴露から避けられるような設備とすること。

管理濃度及び許容濃度:

化学名又は一般名	管理濃度	ACGIH(TLV)
エチレングリコール	設定されていない	100ppm
ジウロン	設定されていない	10mg/m <sup>3</sup>
酸化チタン	設定されていない	10mg/m <sup>3</sup>
メタノール	200ppm	200ppm
酸化ジルコニウム	設定されていない	5mg/m <sup>3</sup>
二酸化錫	設定されていない	2mg/m <sup>3</sup>

保護具

眼の保護具: 保護眼鏡を着用する。

手の保護具: 有機溶剤又は化学薬品が浸透しない材質の手袋を着用する。

呼吸器の保護具: スプレー作業を行なう場合には、有機ガス用防毒マスクを着用する。

皮膚及び身体の保護具: 必要に応じて皮膚が直接曝させないような衣類を着用する。

## 9.物理的及び化学的性質

物理的状態: 液体

臭い(臭いの閾値): 微香臭

pH: 8~9

沸点: 100°C

引火点: なし

燃焼又は爆発範囲(下限): なし

密度: 1.25g/cm<sup>3</sup> (23°C)

溶解特性: 水に可溶

---

## 10.安定性・反応性

安定性: 通常の温度、圧力の条件下では安定である。

避けるべき条件: 加温

混触危険物質: 情報なし

危険有害な分解生成物: 情報なし

---

## 11.有害性情報

急性毒性: エチレングリコール LD<sub>50</sub>(経口) 4,000 mg/kg(ラット)

ジウロン LD<sub>50</sub>(経口) 4,990 mg/kg(ラット)

メタノール LD<sub>50</sub>(経口) 1,400 mg/kg(ラット)

発癌性: 酸化チタン IARC カテゴリー 2B

---

## 12.環境影響情報

漏洩、廃棄などの際には、環境に影響を与える恐れがあるので、取扱いに注意する。  
特に、製品や洗浄水が、地面や川、排水溝に直接流れないように対処すること。

---

## 13.廃棄上の注意

廃塗料、容器等の廃棄物は、許可を受けた産業廃棄物処理業者と委託契約して処理をする。  
容器、機械装置等を洗浄した排水等は、地面や排水溝へそのまま流さないこと。  
排水処理、焼却などにより発生した廃棄物についても、廃棄物の処理及び清掃に関する法律及び関係する法規に従って処理を行なうか、委託すること。  
廃塗料などを焼却処理する場合には、有毒ガスを発生するため、適切な洗浄装置のある焼却炉を使用すること。

---

## 14.輸送上の注意

輸送の特定の安全対策

及び条件: 取扱い及び保管上の注意の項の記載に従うこと。  
容器の破損、漏れのないことを確かめ、衝撃、転倒、落下、容器破損のないように積み込み、荷崩れ防止を確実にすること。

陸上輸送: 関係法令に該当しない。

海上輸送: 関係法令に該当しない。

航空輸送: 関係法令に該当しない。

国連分類番号: 該当しない。

国連品名: 該当しない。

国連分類: 該当しない。

容器等級: 該当しない。

---

## 15.適用法令

労働安全衛生法: 第57条名称表示物質、通知対象物質

消 防 法: 非危険物

---

## 16.その他情報

本データシートは作成時または改訂時において、製品及びその組成に関する最新の情報(危険有害性情報・取扱い情報)を集めて作成しておりますが、全ての情報を網羅したものではなく、新たな情報を入手した場合には追加・修正を行い改訂いたします。

また、本データシートに記載のデータは、その製品を代表する値であり、保証値ではありません。本製品を当社が認めた材料以外のものとの混合、当社が認めた仕様以外の特殊な条件で使用する場合には、使用者において安全性の確認を行って下さい。

---